



2024年12月発行



特集「なばりのきらきらウーマン」め か た み お 第28回 フリーアナウンサー 目加田 美桜 さん

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第28回は、フリーアナウンサーとして県内外で活躍中の、目加田美桜さん。輝く笑顔と、自身を成長させていく粘り強さが印象的でした。

(インタビューの内容はこちらです)

10/27衆議院議員選挙で

ちょっと

国会議員の女性率がアップ



女性の当選者数… **73**人(過去最多)
女性比率… **15.7**% (選挙の前は10.3%)
候補者の女性比率… **23.36**% (過去最高)

女性比率が上がったとはいえ、G7(29~37%)と比べて低い水準です。「クリティカル・マス」といって、意見や存在を無視できなくなる基準は30%とされています。日本政府が掲げる目標は、2033年までに30%です。また、女性の議員が増えるには、候補者が増える必要があります。政党などの努力もありましたが、2025年までに候補者の女性割合を35%とする政府の目標には届いていません。



参考資料:webサイト「内閣府」、「Bloomberg」、「NHK選挙WEB 選挙を知ろう」

選挙権の移り変わり

1890(明治23)年…25歳以上の高額納税男性
1925(大正14)年…25歳以上の男性
1946(昭和21)年…20歳以上の男女
2022(令和4)年…18歳以上の男女

人口の
1%!

女性の参政権運動に20年以上も尽力した、市川房江さんの言葉をご紹介します。

「いままで政治は男の仕事で、女は決して携わらないもの…しかし実際は、家を治めたり、子どもを育てたりすることと、政治とは非常に関係が深いのです。」

「この一票をもってこそ、女も初めて男子と同様に一人前の国民として認められる…政府や政党、および議員は、いやいやながらも婦人の望む政策を取り上げ、実現に努力するようになります。」

今は投票率が低くて選挙離れが課題だけど、歴史を見ると一票の重みを感じるね!



名張市男女共同参画センター

三重県名張市希央台5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内



TEL0595-63-5336 FAX0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/

「つうしん」
web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



日本政府に
求めること

国連女性差別撤廃委員会からの勧告

同委員会＝CEDAW（セドー）は、10月17日、スイスのジュネーブにある国連欧州本部で日本の女性差別撤廃条約の実施状況を審議。29日に総括所見を発表し、60項目の指摘を行いました。

特に重要性が高く、早急な対応を必要とする4項目（2年以内に実施状況を報告）



選択的夫婦別姓の導入



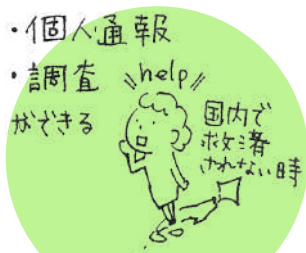
国会議員に立候補するために必要な「供託金」の女性への減額



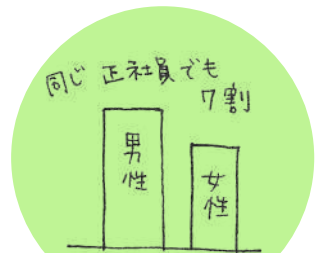
すべての女性と少女へ緊急避妊を含む現代的避妊方法へのアクセスを提供



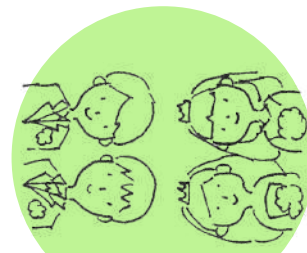
妊娠中絶についての配偶者同意要件を削除



女性差別撤廃条約の選択議定書を批准



男女賃金格差を是正



同性婚を認める



ひとり親女性、高齢女性の貧困解消



所得税法56条の改正



包括的性教育の促進

このほかにも
たくさんの勧告があったよ。
選択的夫婦別姓については
20年以上前から、今回で
4回めの勧告なんだって。
条約の締約国として、
これらを進めて
いきたいな！



女性差別撤廃条約とは？

1981年に発効された国際条約で、女性に対する差別を定義し、締約国に対し、女性へのあらゆる差別をなくすための措置をとることを求めています。日本は1985年に締結し、男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法の制定につながりました。

条約をより効果的なものにするために1999年にできた「女性差別撤廃条約選択議定書」（個人通報と調査の制度がある）には、日本は批准していません。

前回審査から前進とされたこと

前回の国連審査（2016年）以降の8年間で、進展があったと評価されたのは以下の事柄です。

- ・女性の再婚禁止期間の廃止(2024)
- ・旧優生保護法によって不妊手術を強制された人への補償を法律に定めた(2024)
- ・レイプを合意のない性交渉と定義。性的同意年齢を13歳から16歳へ引き上げ(2023)
- ・精神的DVのケースも保護対象に(2023)
- ・結婚できる年齢を男女ともに18歳へ引き上げ(2022)
- ・政治分野の男女均等をめざすことを規定。ハラスメント相談体制を規定

モヤモヤ委員会

第7回

親戚の集まり、大丈夫か問題



年末年始は親戚に会う機会も多いですね。宴会のときに、立って働くのは女性ばかりとか...。『適齢期』に結婚や出産をしていないと肩身が狭い...。みたいなこと、思い当たりませんか? 右の場面はほんの一例ですが、不用意な言動が、誰かにとって「心ない一言」、「居づらい場面」になる場合があります。

いろいろな人が集まる時こそ、「〇〇が普通」で大丈夫かな? 次世代にジェンダーの思い込みを植え付けていないかな? と、ひと呼吸して考えたいものです。そして「その用事、交代するよ」とか「私は私」とか「いろんな生き方があっていい」って誰かが言えたら、変わっていくこともあるのではないのでしょうか!

つうしん130号アンケート

抽選で2名様に
図書カード
1000円分 進呈

- 1、参考になった記事をお答えください (複数回答可)
 ①特集「なばりのきらきらウーマン」
 ②国会議員の女性率がアップ
 ③国連女性差別撤廃委員会からの勧告
 ④モヤモヤ委員会第7回 ⑤相談日程
 ⑥参考になった記事はなかった
- 2、興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか? (複数回答可)
 ①名張市の男女共同参画 ②世界の男女共同参画 ③その他 ()
- 3、特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- 4、130号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、「〇号アンケート」と明記の上、下記の宛先へお送りください。
(送料等はご負担ください)

WEBで回答

メールで回答



WEB <https://forms.gle/4phdE7RozBxfGK1m8>
 メール danjo-center@emachi-nabari.jp
 郵 送 〒518-0775 名張市希中央5-19
 名張市男女共同参画センター宛
 FAX 0595-63-5326

応募締切:2/10① (必着)

※ご記入いただいた個人情報は図書カード発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

11月いっぱい当センターで常設した「パープル＆オレンジリボンを作ろう」のコーナーでは、市民のみなさんに合計45個のリボンを作っていただきました。女性への暴力をなくす運動のシンボル「パープルリボン」と、児童虐待防止のシンボル「オレンジリボン」を身につけて暴力のない社会への思いを表明する人が名張に増えたら...と、去年から取り組んでいます。シンボルやスローガンが生み出されるまでに、どれほどの人が傷ついてきたんだろうか。ともすればスローガンのものを表面的にスルーしてしまう自分に、問いかけたい今日この頃です。



相 談 日 程

名張市男女共同参画センター

1月
2025

日	月	火	水	木	金	土
●予約電話 63-5336			1	2	3	4
			休館日	休館日	休館日	休館日
5	6	7	8	9	10	11
休館日	休館日		女性のための相談 9:00～12:00		女性弁護士による法律相談 10:00～14:00	
				男性のための相談 17:00～19:00	女性のための相談 13:00～16:00	
12	13	14	15	16	17	18
	休館日		女性のための相談 9:00～12:00	メンタルヘルス相談 10:00～12:00		
		人権相談 13:30～16:00			女性のための相談 13:00～16:00	
19	20	21	22	23	24	25
	休館日		女性のための相談 9:00～12:00			
		人権相談 13:30～16:00			女性のための相談 13:00～16:00	
26	27	28	29	30	31	
	休館日		女性のための相談 9:00～12:00			
		メンタルヘルス相談 13:00～16:00			女性のための相談 13:00～16:00	

★「女性弁護士による法律相談」は第1金曜日ですが、休館日のため翌週になります。

2月
2025

日	月	火	水	木	金	土
●予約電話 63-5336						1
2	3	4	5	6	7	8
	休館日		女性のための相談 9:00～12:00		女性弁護士による法律相談 10:00～14:00	
					女性のための相談 13:00～16:00	
9	10	11	12	13	14	15
	休館日		女性のための相談 9:00～12:00			
		人権相談 13:30～16:00		男性のための相談 17:00～19:00	女性のための相談 13:00～16:00	
16	17	18	19	20	21	22
	休館日		女性のための相談 9:00～12:00	メンタルヘルス相談 10:00～12:00		
		人権相談 13:30～16:00			女性のための相談 13:00～16:00	
23	24	25	26	27	28	
	休館日		女性のための相談 9:00～12:00			
		メンタルヘルス相談 13:00～16:00			女性のための相談 13:00～16:00	



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00～12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00～16:00 お休みです



女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00～14:00



男性のための相談

予約優先

電話相談のみ

毎月第2木曜日 17:00～19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

要予約

面談

毎月第3木曜日 10:00～12:00
毎月第4火曜日 13:00～16:00



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special interview 28

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

め か た み お
目加田 美桜さん

フリーアナウンサー

profile

名張出身。大阪教育大学卒業後、大分県のケーブルテレビアナウンサーを経て、フリーアナウンサーに。現在は、FM三重にレギュラー出演中。短期の音楽留学を経験し、ピアノの腕前を活かした音楽活動も展開中。



お仕事について教えてください。

アナウンサーやタレントとしての芸能活動と、ピアノの演奏活動をしています。

フリーアナウンサーとしては、松竹芸能に所属してもうすぐ1年半です。ラジオ、イベント、テレビなどに出演しています。現在は朝7:30から放送のFM三重「Pick up On Mie ～POMie!～」にレギュラー出演中（木・金）です。名張でも多くの方が聴いてくださっているかと思います。FMのパーソナリティは、ただ原稿を読むだけではなく、取材先を探してアポイントをとったり、原稿を書いたりと裏方の役目も多いんですよ。他に、テレビ番組で司会をする機会があったり、事務所を介してオーディションにチャレンジしたり。ピアノの活動では、今年2月に亀山市でソロコンサートを開催させていただきました。

現在の仕事についたきっかけは何ですか？

幼少期からピアノを続けていたこともあり、高校生の時にプロのピアニストに出会い、「好きなこと」「表現すること」を軸に生きる姿に強く惹かれました。ピアニストをめざして大学のピアノ専攻に進み、大学院進学も希望していたのですが、大学1年生の時に父を亡くし、学費の面からも進学は断念。表現することで誰かを元気にできる仕事につきたいと、アナウンサーを志しました。大分県のケーブルテレビ局に就職した後、さらに成長したいと思い音楽にも関わりたい気持ちがあって、心機一転、フリーアナウンサーになりました。



お仕事の面白さはどんなところですか。

もともと好奇心旺盛なので、さまざまなジャンルの仕事ができ、本当に楽しいです。アナウンサーの仕事は、いろいろな業界の方にお話を聞けるので学びが多く、自分自身の視野も広がります。

また、結果が目に見えて分かりやすい職種だと感じています。自分が成長した点もわかりやすくて、やりがいにつながっています。番組のスタッフやマネージャーにアドバイスをもらうことがあるのですが、「ナレーションがうまくなったね!」などと一緒に喜んでくださる時は本当に嬉しいです。それから、何より励みになるのが、視聴者の反応です。「元気をもらった」「今日も頑張れる」などリスナーとの双方向の関係性がとても心強いです。

大変なことはありますか。

芸能活動をしていると、キャリアプランを描きにくいと感じます。「数年後、どこでどんな仕事をいただいているのか」が全く想像できなくて、楽しみな反面、将来家庭をもつことになったら、両立できるかどうか不安な気持ちもあります。それでも、すでにアナウンサーとして活躍している先輩たちが、子育てをしながら仕事を続けたり、その経験を活かしてさらにステップアップしたりしている姿を見て、そうした女性像にあこがれるようになりました。家庭をもっても仕事はずっと続けたいと考えています。

また、FM三重のパーソナリティの仕事では、長時間の番組進行や、1秒単位で時間を合わせながら、適切な言葉を選んで話すことには毎回緊張が走ります。思うようにできず落ち込むこともありますが、なぜそうなったのかを追求して、次回は同じレベルでの失敗をしないようにしています。



今後の夢や大切にしたいことをお聞かせください。

いろいろな年代や性別の人と話すと、それぞれの背景をもちながら生きていることを知ることができるので、今後も「人と話すこと」を大切にしていきたいです。

そして、「こうなりたい」「やってみたい」ということがあれば、何かアクションを起こすようにしています。失敗もありますが、そこで自分自身に見切りをつけるのではなく、日々、前に進んでいきたいと考えています。全国的な活動もしてみたいし、音楽関係の番組やイベントに関わって、司会や演奏活動にもぜひチャレンジしたいです。

また、先日、三重県出身のタレントとして、全国放送のラジオ番組で三重のPRをさせていただきました。今後も地元三重や名張を盛り上げるための活動ができたらいいなと思い描いています。

アニメや声優さんが好きで、イベントに行く他、友人とのランチでリフレッシュしています！



* 見つけた「彼女らしさ」 *

柔らかな声と笑顔が素敵な目加田さん。きちんとしている中にも心ある言葉を紡ぐ様子は、さすがアナウンサー！「この瞬間はダメでも、あきらめないことで未来が変わる」という信条は、自身の経験から導いた強い響きをもっています。未知の世界へ飛び込む行動力と、希望を見据える力に、目加田さん「らしさ」を見つけました。